

《総合政策学部》

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するかを示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ

総合政策学部総合政策学科の教育目標				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー（DP）					
広く世界・日本・地域の動きを視野に入れ、人々の生き方や社会のあり方に関心を寄せ、これからのあり方を考えるために必要な基礎的なリテラシーを土台に、主体的な問題意識と能動的な行動力を身につけ、幅広い教養と実践的な問題発見・解決能力をもった即戦力の社会人を育成する。				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
科目分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることをできる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的に実践的に判断していく知恵を獲得している
宗教学	宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方(分類法など)や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。	◎					○
	宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え(世界観・価値観)の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。	◎					○
教養基幹科目	教養セミナー「学問の発見」Ⅲ B232-841-03	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。				○	△	
	教養セミナー「学問の発見」Ⅳ B232-841-04	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。				○	△	
	心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に説明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	△			△	△	
	心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に説明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	△			△	△	
	哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。				○	○	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることをできる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
教養基幹科目	哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。				○	○	
	文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。	○			△		
	文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。	○			△		
	法学Ⅰ B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。				△	△	
	法学Ⅱ B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法の基本原理を理解する。				△	△	
	政治学Ⅰ B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、執政制度・選挙制度などの政治制度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解する。				△	△	
	政治学Ⅱ B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較して学ぶ。国際政治の仕組みについて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を理解する。				△	△	
	経済学Ⅰ B131-231-01	経済学の基礎概念をミクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、ミクロ経済学的に経済事象を論じることができるような基礎的能力を身につける。				△	△	
	経済学Ⅱ B131-231-02	経済学の基礎概念をマクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	マクロ経済学の基本的な概念を理解し、マクロ経済学的に経済事象を論じることができるような基礎的能力を身につける。				△	△	
	社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、社会学が考えてきたこと、明らかにしてきたことを確認し、社会学の概念や方法を理解していきます。また、それらの知識を用いて、現代社会の諸課題についても考えます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」を理解すること。そして、社会学的思考を用いて、自ら現代社会の諸課題の様相について説明できるようになること。	○		△			
	社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、コミュニティ等を取り上げ、社会学的な視点からそれらの集団の特徴を理解していきます。そして各集団と現代社会の諸課題の関連についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そして、現代社会の諸課題が各集団のなかでなぜ発生し、どのように顕在化していくのかについて説明できるようになること。	○		△			
	教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。			△	○		

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることをできる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決に向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
教養基幹科目	教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。			△	○		
	歴史学A-I・B-I B131-161-11 B131-161-21	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○			△		
	歴史学A-II・B-II B131-161-12 B131-161-22	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○			△		
	地理学Ⅰ B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なものとのらえ方を身に着ける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。	○			△		
	地理学Ⅱ B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なものとのらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べるができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。	○			△		
	数学Ⅰ B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。				△	○	
	数学Ⅱ B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。				△	○	
	統計学Ⅰ B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				△	△	
	統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				△	△	
	物理学Ⅰ B131-420-01	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。				○	△	
	物理学Ⅱ B131-420-02	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。				○	△	
	化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの？」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。				○	△	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることが出来る	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
教養基幹科目	化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。				○	△	
	生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				○	△	
	生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				○	△	
	仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる。	○			△		
	仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる。	○			△		
	禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語(公案)を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する。	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する。	○			△		
	禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する。	○			△		
	生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	△			△	△	
	生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	△			△	△	
	人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。	△			△	△	
	人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。	△			△	△	
	人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようにする。また、差別について批判的精神を養う。	△			△	△	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様な価値観の理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることが出来る	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決に向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的に判断していく知恵を獲得している
教養基幹科目	人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようになる。そして、自ら社会貢献が積極的に可能になることを目指す。	△			△	△	
	日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。	△			○		
	日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。	△			○		
	アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	△			△	△	
	アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	△			△	△	
	ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	△			△	△	
	ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	△			△	△	
	英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる。	△			△	△	
	英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる。	△			△	△	
	人間と環境Ⅰ B231-646-01	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。			△	△		
	人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。			△	△		
	産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。			△		△	
	産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。			△		△	
	健康の科学 B231-594-01	健康や病気を理解するための基礎知識、とくに生活習慣との関わりや疾病予防の重要性について解説する。	健康的な生活を送るための基礎知識を身につけ、日常生活の中で実践できるようになることを目的とする。			△		△	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーションを身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取る事ができる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
外国語科目	ドイツ語Ⅰ(基礎) B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解	△	○				
	ドイツ語Ⅱ(基礎) B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解	△	○				
	ドイツ語Ⅲ(読解) B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化	△	○				
	ドイツ語Ⅳ(読解) B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化	△	○				
	ドイツ語Ⅲ(表現) B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化	△	○				
	ドイツ語Ⅳ(表現) B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化	△	○				
	ドイツ語Ⅲ(総合) B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化	△	○				
	ドイツ語Ⅳ(総合) B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化	△	○				
	ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成	△	○				
	ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成	△	○				
	中国語Ⅰ(基礎) B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。	△	○				
	中国語Ⅱ(基礎) B134-147-12	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。	△	○				
	中国語Ⅲ(読解) B234-147-21	1年次に習得した中国語を基礎に、簡単な文章を読むことによって中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の読解力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。	△	○				
	中国語Ⅳ(読解) B234-147-22	中国語Ⅲ(読解)を受けて、様々な文章を読むことによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の読解力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。	△	○				
	中国語Ⅲ(表現) B234-147-31	1年次に習得した中国語を基礎に、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の表現力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。	△	○				

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様な理解の理解》 《人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる》	《コミュニケーション》 《積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーションを身につけている》	《社会参加》 《社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることができ	《課題発見力》 《客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる》	《課題解決力》 《課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている》	《総合的な知恵》 《現代社会を理解するのに必要多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している》
外国語科目	中国語Ⅳ(表現) B234-147-32	中国語Ⅲ(読解)を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。	△	○				
	中国語Ⅲ(総合) B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。	△	○				
	中国語Ⅳ(総合) B234-147-42	中国語Ⅲ(総合)を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。	△	○				
	中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようになる。中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。	△	○				
	中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話をほぼ毎回行って、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるよう会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。	△	○				
	フランス語Ⅰ(基礎) B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。	△	○				
	フランス語Ⅱ(基礎) B134-146-12	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。	△	○				
	フランス語Ⅲ(総合) B234-146-41	短文の反復や言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の表現を確実に身につける。	フランスで生活するつもりになって、フランス語でフランス人に意志を伝えるつもりで、フランス語会話に集中する。	△	○				
	フランス語Ⅳ(総合) B234-146-42	練習問題による言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の構造を確実に身につける。	フランス語の基本的な例文を覚えると同時に、日本語からフランス語への言い換えも行えるようにする。	△	○				
	韓国語Ⅰ(基礎) B134-148-11	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。	△	○				
韓国語Ⅱ(基礎) B134-148-12	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。	△	○					

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることをできる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
外国語科目	韓国語Ⅲ(読解) B234-148-21	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した人を対象にし、レベルアップした基礎文法を学ぶ。コミュニケーションの訓練とともに、文法と構文の理解、表現力を身につける。また、旅行やビジネス場面でよく使われる表現を学ぶ。	韓国語の基礎文法を踏まえ、より豊かな基礎会話を養うことを目標にする。徐々に語彙・文法項目を増やしていき、韓国語で書かれた文章に対する理解力を高める。	△	○				
	韓国語Ⅳ(読解) B234-148-22	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人を対象にし、中級を目指して実践的な表現を学ぶ。定型表現の学習は、ものの描写、要求・依頼・主張など様々な場面にふさわしい構文と語彙を習得し、言語運用力を養う。	中級レベルの文法や語彙を学び、韓国語としてより自然で円滑なコミュニケーションができるようにする。より豊かな言語表現力を養い、韓国語文章に対する「読む・書く」能力の上達を目標にする。	△	○				
	韓国語Ⅲ(表現) B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文法の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。	△	○				
	韓国語Ⅳ(表現) B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。	△	○				
	韓国語Ⅲ(総合) B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハングル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハングル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハングル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。	△	○				
	韓国語Ⅳ(総合) B234-148-42	ハングル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハングル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハングル検定試験5級に合格する。あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。	△	○				
	韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成ができるレベルに達しているが、会話ができるには限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることで、積極的に話す機会を与える。	ハンガルの読み書きが確実にできるようにする。基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。	△	○				
	韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成ができるレベルに達しているが、会話ができるには限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることで、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルに必要な会話のスキルを身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。	△	○				
	韓国語会話Ⅲ B234-148-53	ネイティブによる発展的韓国語演習	韓国語の日常的な会話で自己表現ができる。	△	○				

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様な の理解 人種・性 別・障害 の有無な 多様な 外形的 だけだ く、文 化・価 値観な 多様性 の理解 、相手 の立場 を尊重 できる	《コミュニ ケーション 力》 積極的 な意思 疎通の できる 開かれ た心と 相互理 解を深 めるた めのコ ミュニ ケーション 力を身 につけ ている	《社会参 加》 社会の 一員と して様 々な主 体と協 力し、 主体的 に問題 解決に 向けた 行動を 取るこ とができ る	《課題発見 力》 客観的 な情報 を元に 現状の 問題を 把握・ 分析し 、解決 に向けた 方向づ けがで きる	《課題解決 力》 課題解 決へ向 けた計 画策定 、実施 、評価 、改善 を遂行 する力 を身に つけて いる	《総合的な 知恵》 現代社 会を理 解する のに必 要な多 分野に わたる 知識を もち、 物事を 総合的 かつ実 践的に 判断し ていく 知恵を 獲得し ている
	韓国語会話Ⅳ B234-148-54	ネイティブによる発展的韓国語演習	韓国語の発展的な様々な内容の会話で自己表現ができる。	△	○				
	スペイン語Ⅰ(基礎) B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。	△	○				
	スペイン語Ⅱ(基礎) B134-149-12	スペイン語Ⅰ(基礎)で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。	△	○				
	スペイン語Ⅲ(読解) B134-149-21	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形などさらにレベルアップした内容を学んでいく。	さまざまな時制を含むバリエーションに富んだ文章が理解できるようになる。	△	○				
	スペイン語Ⅳ(読解) B134-149-22	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、幅広い種類の文章に慣れる。	辞書を使ってやや長い文章が理解できるようになる。	△	○				
	スペイン語Ⅲ(表現) B134-149-31	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去や未来の時制といった中級程度の内容を学ぶ。	あらゆる時制を使いこなし、自分の気持ちがある程度自由に表現できるようになる。	△	○				
	スペイン語Ⅳ(表現) B134-149-32	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、表現の幅を広げていく。	辞書を使いながら、大きな支障なくコミュニケーションが取れるようになる。	△	○				
	スペイン語Ⅲ(総合) B134-149-41	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形など中級程度の内容を学び、演習を多く行う。	会話や文字などさまざまな手段で、自分の気持ちがある程度自由に表現することができる。	△	○				
	スペイン語Ⅳ(総合) B134-149-42	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。命令形や反実仮想といった上級レベルの表現を学ぶ。	辞書を使えば大きな支障なく相手とスムーズなやり取りができる。	△	○				
	スペイン語会話Ⅰ B134-149-51	先生や学生どうしでのコミュニケーションを通して、正しい発音を身につけつつ挨拶など基礎的な表現を学ぶ。	挨拶、簡単な自己紹介、日常の動作といった基本的な表現を覚え、簡単なコミュニケーションが取れるようになる。	△	○				
	スペイン語会話Ⅱ B134-149-52	スペイン語会話Ⅰを履修した学生を対象に、嗜好や予定などさらにバリエーション豊かな表現を学ぶ。	繰り返し練習を重ね、辞書を使ってさらに複雑なコミュニケーションが取れるようになる。	△	○				
	日本語Ⅰa B114-139-01	高度な文法力や読解力を身につけることを目的に論理的な文章を読む。	論理的な文章が読めるようになる。また、教材を通して日本社会への理解を深めることができる。	△	○				
	日本語Ⅱa B114-139-02	読解力を向上させるために、論理的な文章だけでなく、エッセイなども取り上げて読む。	様々なタイプの文章を、一人で読めるようになる。また、内容に関して意見や感想をまとめることができる。	△	○				
	日本語Ⅰb B114-139-03	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	留学生活に必要な聴解力・会話力を身につけ、わかりやすい発表ができるようになる。	△	○				
	日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取れ、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。	△	○				

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることができ	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
外国語科目	日本語 I c B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。	△	○				
	日本語 II c B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み・書きの高度な日本語力を身につけることができる。	△	○				
	日本語 I d B214-139-07	意見文を読み、自分の意見を述べたり、内容を要約したりする。	社会で問題になっている様々な問題について、自分の考えをわかりやすく述べるができる。	△	○				
	日本語 II d B214-139-08	ディベートやスピーチ学習などを通して、まとまりのある内容を的確に伝える方法を学ぶ。	自分の考えをわかりやすく伝えることができる。	△	○				
	日本語 I e B214-139-09	「食」をメインテーマに課題を設定し、資料を集め、まとめて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。	△	○				
	日本語 II e B214-139-10	日本の文化や社会に関するテーマについて、課題を設定し、調べて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。	△	○				
健康総合科学科目	スポーツ科学 I B135-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。		△	△			
	スポーツ科学 II B135-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。		△	△			
	スポーツ科学 III B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。		△	△			
	スポーツ科学 IV B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。		△	△			
海外事情科目	海外事情 I B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	△	△	△			
	海外事情 II B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	△	△	△			
	海外事情 III B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	△	△	△			

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取る事ができる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
海外事情科目	海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	△	△	△			
情報リテラシー	情報リテラシーⅠ G111-902-01	情報化社会で生活する際に必須となる文書作成ソフト・表計算ソフト・インターネット関連ソフトの活用方法を学ぶ。専用コンピュータールームで演習を主に進める。	・情報機器を用いた様々な情報の収集 ・分析、自身の考えを加えた効果的な発信ができる ・他講義で課されるレポートやデータ分析の課題作成に応用できる		◎		△	△	
	情報リテラシーⅡ G111-902-02	現代社会で広く活用される数理、データサイエンス、AI分野への関心を高め、これらの基礎・応用知識を理解し、活用する実践的な能力を向上させる。	・数理、データサイエンス、AIの基礎 ・応用知識を理解し、説明できる ・数理、データサイエンス、AIの基本手法を実践し、社会課題の解決に役立てる		◎		△	△	
	プログラミングⅠ G231-605-01	簡易なプログラム言語を用いて基礎的なプログラミングとそこに使われるアルゴリズム(処理手順)を学ぶ。	・基礎的なプログラミングができる ・プログラミングに用いる基本的なアルゴリズムを説明できる ・アルゴリズムを組み立てるために必要な論理的思考力を修得できる		△			△	
	プログラミングⅡ G231-605-02	汎用プログラム言語を用い、様々な応用課題を演習形式で学ぶ。	・汎用プログラム言語のプログラムを読むことができる ・汎用プログラム言語を使った、繰り返し処理 ・条件分岐処理を説明でき、関数を作成することができる		△			△	
	データベース G231-608-01	データベースは現代社会活動を支える基礎技術であり、効果的な業務達成に不可欠である。その基本的な構造を理解し、社会生活の中で自身を持ってデータベースの利活用に臨める素養を学ぶ。	・データベースとは何か、どのような発展を遂げたかを説明できる ・社会生活の継続的展開におけるデータベースの役割を指摘できる ・小規模なデータベースシステムの構築ができる		△		△	△	
言語リテラシー	コミュニケーション英語Ⅰa G114-141-01	文化、社会、科学などの実社会に関するテーマを題材に4技能(リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング)を養成する。特にリーディングのスキルの習得を目指す。	L1:学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解できる L2:簡単な英語で表現されていれば実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を探することができる L3:簡単な英語を用いて書かれた人物の描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの説明を理解できる L4:簡単な語を用いて書かれた個人的な興味のあるトピックに関する文章をイラストや写真も参考にしながら理解できる	○	◎				
	コミュニケーション英語Ⅰb G114-141-02	同上	同上	○	◎				

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力 を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力し、主体的に問題解決に向けた行動を取ることをできる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
言語リテラシー 科目	コミュニケーション英語Ⅱa G114-141-03	4技能の中でも特にライティングのスキルを養成する。授業では、ライティングの課題に継続的に取り組み、英語の作文をベースとした作品を作成する。	L1:自分に直接関わりある環境での出来事、ある程度まとまりのある形で描写することができるL2:身の回りの出来事や趣味などについて個人的経験や自分に直接関係のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができるL3:日常的・個人的な内容であれば、招待状、手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができるL4:自分の経験について、辞書を用いて、短い文章を書くことができる	○	◎				
	コミュニケーション英語Ⅱb G114-141-04	同上	同上	○	◎				
	コミュニケーション英語Ⅲa G114-141-05	スピーキングに重点を置いて、4技能の総合的能力向上を図る英語授業。会話技術、役割のみならず、さまざまな場面での表現、フレーズの習得を目指す。	L1:簡単なトピックについて、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる L2:簡単な英語で意見や気持ちをやり取りしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる L3:順序を表すつなぎことばや基本的な表現を使って、単純な道案内などをすることができる L4:趣味や部活動などの馴染みのあるトピックに関して、はっきりと話されれば簡単な質疑応答をすることができる	○	◎				
	コミュニケーション英語Ⅲb G114-141-06	同上	同上	○	◎				
	コミュニケーション英語Ⅳa G114-141-07	文法に重点を置いて、4技能の総合的能力向上を図る英語授業。文法項目は切り離して教えるのではなく、英語の4技能の総合的能力向上プログラムのなかに組み込まれた形で教えられる。	L1:身近な状況で使われる語彙や文法を幅広く使って、ある程度円滑にコミュニケーションを行うことができる L2:基礎的な文法、日常生活語彙や表現を度用いて、4技能を通してコミュニケーションを行うことができる L3:基礎的・具体的な語彙、文法や簡単な句を使って4技能を通じてなんとかコミュニケーションを行うことができる L4:簡単な語彙、基礎的な文法を習得し、簡単な身近なことについてであれば、なんとか4技能を通してコミュニケーションを行うことができる	○	◎				
	コミュニケーション英語Ⅳb G114-141-08	同上	同上	○	◎				
	プラクティカル英語Ⅰ G214-141-09	様々な社会的内容のプロジェクトを通して4技能を総合的に運用するためのスキルを養成する。	・4技能を発展させた形で総合的に運用することができる	○	◎				
	プラクティカル英語Ⅱ G214-141-10	同上	同上	○	◎				

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力し、主体的に問題解決に向けた行動を取ることをできる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
言語リテラシー リテラシー科目 リサーチリテラシー	イングリッシュ・プロジェクトⅠ G234-143-01	これまでの学習をさらに発展させ、社会問題について英語で取り扱うプロジェクト型の授業である。	・問題の背景や現状に関する知識を修得し、自分に関係する問題と関連づけることができる ・英語での学習スキルを習得し、4技能を統合的に使うことができる	△	△		△		
	イングリッシュ・プロジェクトⅡ G234-143-02	同上	・問題の背景や現状に関する知識を修得し、自分に関係する問題と関連づけることができる ・プレゼンテーションスキルを習得し、4技能を統合的に使うことができる	△	△		△		
	イングリッシュ・プロジェクトⅢ G234-143-03	同上	・問題の背景や現状に関する知識を修得し、自分に関係する問題と関連づけることができる ・提案書やレポートの書き方を習得し、4技能を統合的に使うことができる	△	△		△		
	イングリッシュ・プロジェクトⅣ G234-143-04	同上	・問題の背景や現状に関する知識を修得し、自分に関係する問題と関連づけることができる ・ディベート、ディスカッションのスキルを習得し、4技能を統合的に使うことができる	△	△		△		
	日本語表現法Ⅰ G111-137-01	レポートや卒業論文に必要な論理的な文を書くための基礎技術を修得する。具体的には、文章全体や段落の構成の仕方、論拠に基づいた文の書き方、資料の引用の仕方などを学ぶ。	・自分の考えや意見を、根拠に基づいて(きちんとした理由をつけて)、論理的に(誰もが納得のいくように)わかりやすく書くことができる	△	◎	○			
	日本語表現法Ⅱ G131-137-02	データを用いて説得力ある意見を提示することや、自分の言いたいことを速やかにまとめ、自信を持って伝える口頭表現能力を高める。	・情報を正確に把握し、それを的確にわかりやすく伝えられる ・自分の考え、意見を論理的に発表できる ・データをもとに説得力ある意見が述べられる		○	○			
	社会調査論Ⅰ G111-261-01	社会事象について問題の実態や原因を説明するため、アンケート調査を中心とした社会調査手法についての基礎知識を学習する。	・社会調査を行う上でのノウハウを修得し活用できる ・さまざまな社会調査に対して適切な評価や判断を下すことができる			△	◎	○	
	社会調査論Ⅱ G231-261-02	社会調査論Ⅰで修得したノウハウ(基本的な考え方や手順、手法)について、実際の社会調査で活用できるよう実践を通して学習する。	・アンケート調査の設計、アンケート票の作成、実査、データ入力、分析、報告書の作成、プレゼンテーションの一連の作業ができる				○	○	
	社会統計学Ⅰ G211-603-01	統計的手法の原理・手法を体系的に学び、統計の意味を深く理解して自在に活用するための基礎力を身につける。	・記述統計に関する知識を理解できる ・記述統計に関する値を計算できる				◎	○	
	社会統計学Ⅱ G231-603-02	統計的手法に関する基礎力に基づき、統計的手法の原理・手法を体系的に学び、統計の意味を深く理解して自在に活用するための応用力を身につける。	・簡単な推測統計に関する知識を理解できる ・簡単な推測統計に関する値を計算できる				○	○	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取る事ができる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
リサーチリテラシー	データ分析 I G211-603-03	表計算ソフトウェアを使用し、各種の調査・測定データを適切に処理し、基礎的な情報把握・抽出する能力を養う。	・表計算ソフトの表現力を活用し、データを処理できる ・表計算ソフトを用い、目的に合った適切な分析手法を選択し、記述統計量を求めることができる ・基本的な分布関数の姿や性質を理解できる				◎	○	
	データ分析 II G231-603-04	表計算ソフトウェアや統計ソフトを使用し、各種の調査・測定データを適切に処理し、応用的な情報把握・抽出する能力を養う。	・表計算ソフトを用い、目的に合った適切な分析手法を選択し、記述統計、推測統計に関する分析ができる ・分析結果を適切に解釈できる				○	○	
リテラシー科目 ブランニングリテラシー	ロジカルシンキング I G221-737-01	問題解決のために、問題を分析整理する手法や解決策を検討する手法、説得力のある提案をする手法など、論理的思考方法について実践的に学習する。	・自分なりの考え(主張)を持つことができる ・なぜそのように思うのか、論拠を明確にすることができる ・相手に納得してもらえるように、分かりやすく考え(主張)を伝えることができる		△	◎	△	△	
	ロジカルシンキング II G221-737-02	ロジカルシンキング手法の応用編として「企画立案」の一連の流れ(アイデア出しから企画書の作成、プレゼンテーションまで)を実践的に学習する。	・自由な発想でアイデアを出すことができる ・アイデアを企画として形にまとめることができる ・周囲に伝え、賛同を得ることができる			○		○	
	問題解決技法 G221-738-01	問題を解決するために、様々な情報を構造化し明確にするための手段、また他者に伝達するための手段として実社会で用いられている、問題解決技法について学習する。	・実社会で問題解決 ・改善のために活用されている技法を理解し説明できる ・上記の技法を問題解決のために使用できる			○		○	
	プランニング論 G221-737-03	問題解決のための基本的なプランニングの考え方に関する知識を学習する。	・実社会での様々な問題解決の場面におけるプランニングの役割について理解し説明できる			○		○	
	ファシリテーション G221-737-04	話し合いを活性化させ、人々の活動が容易に運ぶように支援促進する「ファシリテーション」や「参加型」の意義について理解を深め、実践を通してファシリテーションに必要なスキルを学習する。	・参加型の意義とファシリテーションの役割を説明できる ・自己理解、他者理解、相互理解、共通理解を進めるために、参加型の方法論について学び、活用できる ・社会的合意形成手法を扱うプロセスファシリテーションについて学び、参加型のプログラムを作成できる		○	○			
空間デザイン G221-738-02	人間をはじめ様々な生き物が生活する空間において持続可能な利用をするために必要な空間の取り扱い方を学び、そのためのデザイン手法を実践的に学習する。	・これまで行われてきた空間の取り扱い方を理解し、空間を読み解くことができる ・様々な空間把握・記録のための方法を活用できる ・空間を計画・デザインすることができる				○	○		
基礎科目	総合政策概論 G111-221-01	総合政策についての概念的な把握を促すとともに、学部教員の各専門分野におけるさまざまなトピックスを取り上げ、総合的・学際的な考察を加える。	・多分野のトピックスについて受講し、興味・関心を持ち基礎的な事柄を説明できる ・社会の出来事が多様な事柄で構成されていることを説明できる	△		△	△		◎
	政策規範論 G211-221-02	公共政策が則るべき規範の諸理論を概観する。	・政策規範に関する諸理論について説明できる ・政策規範に関する諸理論を踏まえ、社会問題について自分なりに考え、論じることができる				◎	◎	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ			総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)						
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることができる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
基礎科目	政策過程論 G211-221-03	公共政策の形成・執行過程を対象に、アクター（主体）間の相互作用やアクターと制度との関係に関する諸理論を紹介する。	・政策過程に関する諸理論、モデルについて説明できる ・政治現象や社会現象について理論やモデルを適用し、解釈を試みることができる			△	◎	◎	
	政策評価論 G211-221-04	国レベルでは法制化され、自治体レベルでも導入が広がり、重要度を増している政策評価について、その意義および手法を学習する。	・日本における政策評価の展開について説明できる ・政策プログラムについて目標・指標設定から評価・改善までの一連の流れについて独自の意見を持つことができる			△	◎	◎	
	政治学基礎 G131-222-01	高校での公民の授業から大学の高度な専門科目への橋渡しとして、政治制度や諸アクターの行動、政治に対する規範的な議論や実証的な研究に至るまで広く概観する。	・日本の統治機構の概要とその働きについて説明できる ・これまでの規範的な議論など、政治に対する多様な考えに触れ、論じることができる	○		○	◎		
	経済学基礎 G131-231-01	経済学の諸概念を知り、経済の動きがそれらの概念によりどのように説明され、現実の経済はどのように動いているかを講義する。	・経済変数の諸概念を説明できる ・消費者及び企業がどのような行動原理で動いているかを説明できる				◎	◎	
	国際関係学基礎 G131-223-01	国際関係の視点や歴史・国際関係に関連する諸分野・国際関係をめぐる諸問題について概観する。	・国際関係の基本的な視点や歴史について説明することができる ・国際関係に関連する諸分野・国際関係をめぐる諸問題に関する事項について簡潔に論じることができる	◎			○	○	
	社会学基礎 G131-261-03	現代社会の特徴を学び、個人と社会のありかたについて社会学的視点から考察する。	・現代社会の特徴を、社会に関する基礎的知識に基づいて考えることができる ・社会の持つ力について理解し、身近な例にあてはめて考え行動することができる	△	△		◎		
	情報科学基礎 G131-601-01	情報通信関係の分野に携わる場合に必須の基本レベルの知識として、情報科学分野の基本原則からコンピュータの基本動作・ネットワークの概要及び著作権保護等について概観する。	・情報通信技術(ICT)分野の基本用語と論理的な考え方を説明できる ・ICTに関する基本的な素養を習得することで、情報化社会で生活するスキルを発揮できる				◎	△	
	人間科学基礎 G131-285-01	心理学に関する科学的研究を通し、自分や身の周りの社会的問題を考える力を養う。	・授業で紹介された心理学に関する概念を、日常生活での具体的現象と併せて理解し説明できる	○			◎	○	
	法学入門 G131-211-01	法に関する基本的な知識や法的な思考方法を紹介し、公共的な諸問題の解決策としての法の取り組みや機能について概観する。	・法に関わる用語や概念の意味を説明できる ・法の解釈や適用のあり方を説明できる ・わが国の法制度の概略を説明できる	△		△		△	
	環境学入門 G131-646-01	身近な環境から地球環境まで、我々を取り巻く環境にどんなことが起きていて、どのように対応したら良いか概観する。	・地球規模から身の回りまで、環境問題がどのようなものかの概観を説明できる ・主な環境問題への対応について説明できる	△			△	△	
	グローバリゼーション論 G131-223-02	グローバリゼーションについて、具体的なテーマや事例などを取り上げ、地球規模で起きている諸問題、グローバリゼーションに関わる様々な主体やその取り組みについて概観する。	・グローバリゼーションに関する事項について説明することができる ・グローバル規模での諸問題やその解決策について簡潔に論じることができる	△			△	△	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることができる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的に実践的に判断していく知恵を獲得している
基盤科目	生命論 G131-423-01	生命科学の世紀になると見込まれる今世紀を生きる者として、生命とは何かとの間に向かい合いつつ、社会人としての役割、協働・協調のあり方を考える。	・生命科学の知見の概要と、それらが社会生活に及ぼす影響の諸側面を理解し説明できる ・生命活動に関する多様な見解の存在を踏まえながら、自らの立場を確認・確立することができる	△		△	△		
	日本現代史 G231-162-01	現代日本の歴史について、政治・経済・社会、外交の各側面を取り上げ、概観する。	・第2次世界大戦後の日本の歴史について、説明できる ・歴史的な知見を踏まえ、現代日本が直面している諸問題の契機や原因について論じることができる	△			△	△	
	世界現代史 G231-163-02	現代世界の歴史について、具体的な国・地域・国際関係・テーマ・事例・背景を取り上げ概観する。	・現代世界の歴史に関する事項について説明することができる ・現代世界における諸問題・課題について簡潔に論じることができる	△			△	△	
	組織意思決定 G231-238-01	組織が適切な運営を行うためには、的確な意思決定が必要となる。そこで、組織意思決定における基礎的構造を理解し、的確な意思決定のための情報収集・共有のための方法を学習する。	・組織意思決定のための基礎的構造を理解し説明できる ・コミュニケーションおよびチームワークについての的確な意思決定手法を活用できる		○	○			
	数理意思決定 G231-607-01	数値データや数学的な考え方を使った定量的な手法により、個人行動、企業のビジネス、行政の政策等における意思決定に的確な判断材料を与えることができる。この授業では、様々な定量的最適化手法を学習する。	・定量的な見方での最適化手法の知識を獲得し、問題解決のため各種手法を適用して論理的に思考することができる ・定量的判断を適用して業務を企画・改善・効率化する活動などの場で身につけた分析技能が発揮できる				○	○	
政治・行政クラス 展開科目	政治理論 G231-222-02	人間や社会のあり方について考察した、思想家の諸理論を概観する。	・政治理論についての基礎的知識を説明できる ・修得した知識をもとに、現代社会について自分なりに考え、論じることができる				△	△	
	政治過程論 G231-222-03	政治過程において有権者の意思がどのように形成され、政治に反映されているかを概観する。	・有権者の政治意識や投票行動に影響を与える諸要因を説明できる ・主権者の一員として、政治過程における有権者の役割、意義について論じることができる				△	△	
	日本政治論 G231-222-04	現代日本において、政策決定がどのように行われるか、国会、政党、政治家、圧力団体等の機能について論じる。	・日本の政治制度、政治過程について説明できる ・政治制度と政策決定に関わる諸アクターの行動との関係について説明できる				△	△	
	比較政治論 G231-222-05	各国の政治体制や政治制度を取り上げ、その機能や相違点について概観する	・世界の主な政治体制や政治制度について説明できる ・比較を通じて、各国の政治体制や政治制度の多様性や背景にある理念について説明できる	△			△	△	
	現代行政論 G231-222-06	行政組織の管理と行政改革について、理論・歴史的展開を説明し、さらに世界各国で行われている行政改革の実態を紹介する。	・日本を含めた世界の行政組織の管理と組織改革について説明できる ・実際の日本の行政改革を、さまざまな理論的観点から評価できる				△	△	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることが出来る	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
政治・行政クラス	日本行政論 G231-222-07	政策を実行するための行政組織の特徴と実際の行政運営について、日本を中心に理論・歴史、さらに実態を講述する。	・日本の行政組織の特徴とその運営について説明できる ・実際の日本の行政組織を、さまざまな理論的観点から評価できる			△	△	△	
	地方自治論 G231-222-08	“民主主義の学校”、“政策の実験場”と多様な側面を持つといわれる地方自治体の行政運営について、理論・歴史・実態について論じる。	・地方行政に関する制度やその実際の運用を説明できる ・地方行政に存在する問題を発見し、独自の視点から評価できる			△	△	△	
	地域政策 G231-261-04	地域社会における諸問題について、国、自治体、NPO、市民の各主体による取り組みを概観する。	・授業で取り上げた地域社会における問題の実態とその背景を理解し、説明できる ・これまでとられてきた政策とその効果 ・課題、行政と市民 ・NPOの役割について説明できる ・一人ひとりが問題解決の主体として何が出来るかを考えることができる			△	△	△	
	合意形成論 G231-738-03	公共計画など、意思決定プロセスへの住民参加が重視されてきていることを踏まえ、社会的な意思決定における住民参加による合意形成の意義や手法を学習する。	・合意形成とは何かを理解し、合意形成のための手法を説明できる ・擬似的な合意形成プロセスを体験し、合意の仕方や適用できる			△	△	△	
	NPO・NGO論 G231-222-09	NPO・NGOを中心とした非営利セクターの社会的役割や組織のあり方、行政や営利セクターとの協働について学習する。	・非営利セクターを支える制度を理解し、主体的に関与することができる ・社会問題解決に資するNPO・NGOの役割および行政や企業等との連携のあり方について説明できる			△	△	△	
経済・環境クラス	経済政策 G231-234-01	国民の安全・安心な生活を守ることを念頭にこれを達成する要件を見、その状況により、政府が政策的にそれを是正できるのかどうかという問題を考え、市場経済の限界、政府の限界を講義する。	・市場経済の有効性と限界、政府の行動原理と有効性を説明できる ・市場経済の中でどのように行動し政府に対してどのような要求をすべきかを判断できる				○	○	
	財政学Ⅰ G231-235-01	経済学の1分野であるマクロ経済学をまず講義し、さらにマクロ経済学の概念を用いて、政府の役割の1つである経済の安定のための政策に関して講義する。	・マクロ経済変数の概念を知り、日本経済の動向を理解し説明できる ・失業・インフレ・デフレの発生について、原因や対応・対策方法などを考える上での基礎的知識を習得し説明できる				○	○	
	財政学Ⅱ G231-235-02	経済学的に見て、格差の存在がなぜ望ましくないのかを考え、その上で格差を是正するにはどのような政策手段があるのかを講義する。	・所得分配のあり方、不平等の現状を説明できる ・所得分配の制度的問題点を説明できる ・所得分配の公平がどのように図られるべきかを考え説明できる				○	○	
	金融論Ⅰ G231-236-01	金融がどのような仕組みで動くのか、あるいは金融市場の参加者の行動原理を知る事を狙いとし、金融の仕組み、役割、金融市場が抱える問題点について、金融のミクロ的側面を中心に講義する。	・金融のミクロ的側面を中心に日本の金融制度がどのように動いているのか説明できる ・各種の金融資産のリスクとリターンとの関係を知ることにより資産運用のあり方を説明できる				○	○	
	金融論Ⅱ G231-236-02	個々の経済主体の行動ではなく、国全体で金融あるいは貨幣がどのような役割を果たしているかを、金融のマクロ的側面を中心に講義する。	・金融のマクロ的側面を中心に日本の金融制度がどのように動いているのが理解し説明できる ・経済の安定に対して、財政・金融政策がどのような役割を果たすのか、財政・金融政策の限界について説明できる				○	○	

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)						
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることができる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している	
経済 環境 クラスター	環境政策 G231-646-02	環境政策について、環境問題と政策体系、環境政策の思想などを交えながら解説をし、実際の環境問題を解決するための環境政策の組合せの効果について講義する。	・環境問題に対する政策の体系を理解し説明できる ・環境政策と現状の関係が分かり、適切な環境政策を提案できる			△	△	△		
	環境評価論 G231-634-01	科学性を担保した評価手法・評価基準、評価の基礎データとなる多様な指標について解説し、その上で、開発などの行為における影響評価について意義や手続きについて講義する。	・環境評価のための環境指標の種類や利用方法について説明できる ・講義を通して得られた知見をもとに環境評価方法について提案できる	△			△	△		
	環境マネジメント論 G231-646-03	環境マネジメントシステムの概要と、様々なツールを用いた環境マネジメントにおける評価方法を示し、企業における環境評価事例、実践的な環境活動の進め方を講義する。	・環境に関する情報である環境マネジメントの諸要素を整理できる ・環境関係の表示や目標設定の論理的な説明ができる			△	△	△		
	環境共生論 G231-644-01	環境共生の取り組みについて、最新の環境問題を取り上げ、関連や課題を解説する。	・社会の持続可能性を向上させるための方法を説明できる ・経済側面と環境側面を両立するために必要な手法を説明できる	△			△	△		
	国際環境論 G231-634-02	経済発展と環境の関係を踏まえ、国際的に議論されている環境問題について、地方・地域・国・世界の各規模における事例を網羅的に講義する。	・身の回りから世界規模までの環境問題を国際的な視点で説明できる ・環境問題について我が国と他国との関係性および協調の意義を説明できる	△		△	△			
展開科目 国際 クラスター	国際関係史 G231-223-03	国際関係の歴史について、国際関係にかかわる様々な主体・国・地域・テーマや事例などを取り上げ、国際関係の歩みを考察する。	・国際関係歴に関する事項について説明することができる ・国際関係史を踏まえ、国際関係の現状や問題 ・課題について論じることができる	△			△	△		
	国際関係論 G231-223-04	国際関係に関する理論的視点・枠組み、国際関係に係わる主体・国・地域・テーマや事例を取り上げ考察する。	・国際関係についての理論的視点や枠組みについて説明することができる ・国際関係の理論的枠組みを踏まえ、国際関係の現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△		
	国際安全保障論 G231-223-05	軍事・防衛・安全保障分野を中心に、伝統的な安全保障の概要を検討し、国・国家間・地域・国際レベルでの安全保障について、具体的な政策・歴史的事例などをとりあげて考察する。	・国際安全保障に関する事項について説明することができる ・国際安全保障に関する現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△		
	外交政策 G231-223-06	外交の概要について検討し、具体的な国・テーマ・分野・地域などを取り上げて、外交政策にかかわる政府をはじめとする諸主体の取り組み・事例・政策及び評価などについて考察する。	・外交政策に関する事項について説明できる ・外交政策の現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△		
	国際機構論 G231-223-07	国際連合などの国際機構の役割・機能についての概要について検討し、具体的な分野・地域における国際機構の取り組み・それに関わる様々な主体や事例・政策などを考察する。	・国際機構に関する事項について説明することができる ・国際機構に関する現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△		

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力し、主体的に問題解決に向けた行動を取る事ができる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決に向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
国際 クラス	人間の安全保障論 G231-223-08	人間の安全保障の概要について検討し、具体的な分野や国を取り上げ、人間の安全保障に向けた国際的な取り組み・それに関わる様々な主体や事例や政策などを考察する。	・人間の安全保障に関する事項について説明することができる ・人間の安全保障についての現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△	
	国際開発論 G231-234-02	国際開発の概要について検討し、具体的な分野・地域・国を取り上げて、国際開発の取り組み・それに関わる様々な主体や事例、政策などを考察する。	・国際開発に関する事項について説明することができる ・国際開発に関する現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△	
	国際協力論 G231-223-09	国際協力の概要について検討し、具体的な分野・地域・国を取り上げて、国際協力の取り組み・それに関わる様々な主体や事例、政策などを考察する。	・国際協力に関する事項について説明することができる ・国際協力に関する現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△	
	国際政治経済論 G231-223-10	国際レベルにおける政治と経済の関係の概要及び歴史的背景を検討し、国際政治経済にかかわる様々な主体・国・地域・テーマや事例などを取り上げ、国際政治経済について考察をする。	・国際政治経済に関する事項について説明することができる ・国際政治経済に関する現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△	
	国際社会論 G231-261-05	国際社会の概要及び歴史的背景について検討し、具体的なテーマ・分野などを取り上げて、国際社会にかかわる様々な主体の取り組みや事例などについて考察する。	・国際社会に関する事項について説明することができる ・国際社会の現状や問題・課題について論じることができる	△			△	△	
展開科目 社会・文化 クラス	表象文化論 G231-261-06	言語表現・映像表現で主に構成される「表象」にまつわる文化現象を通じて見えてくる現代社会について考察する。	・具体的な表象文化現象が社会を反映している仕組みを説明できる ・表象文化の関わりから現代社会の問題を考え、課題解決のための方策を見出すことができる	△			△	△	
	多文化共生社会論 G231-261-07	多文化社会の中で生じる障壁事例を俯瞰し、文化背景の異なる人々が共に生きていく社会を構築していくためにはどうしたらよいかを考える。	・文化の多様性について説明できる ・自分はいったい何者か問うことを出発点にして、異なる文化に接近することができる ・多文化共生を阻む問題を乗り越える視点を獲得し、活動できる	△		△	△		
	コミュニティ論 G231-261-08	コミュニティを理解するため欧米の理論や日本での地域のつながりを見直すことでこれからのコミュニティのあり方について考察し、持続可能なコミュニティとするための政策について検討する。	・コミュニティとは何かを理解し説明できる ・主体的なコミュニティへの関与の仕方について考え、行動できる ・コミュニティを再生するための政策について自分なりの考えをもてる	△		△		△	
	社会政策 G231-262-01	社会政策の発生原因、現代日本の社会政策のあゆみ、社会政策の権利性、社会政策の課題等について理解を深める。	・現代社会における社会政策の必要性について説明できる ・社会政策の権利性について説明できる ・社会政策の概要を理解し、論点を整理して説明できる				○	○	
	機会均等論 G231-261-09	機会均等をめぐる歴史や理論的根拠、社会の実情と課題について学び、社会が持つ力という観点から、機会均等に向けた取り組みについて考察する。	・機会均等について多角的に学び、社会が個人に与える影響について説明できる ・自らの意見に論理的思考を取り入れることができる	△	△		△		

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることができ	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
社会 文化 クラスター	格差社会論 G231-262-02	格差社会の特徴、格差縮小に向けた取り組みの歴史、格差が社会や個人にもたらす影響について学び、多角的な視点から考察する。	・多様な社会のありかたについて、多角的な見方を説明できる ・自らの意見に論理的思考を取り入れることができる	△	△		△		
	男女共生社会論 G231-821-01	現代社会における「男女共生」が如何に新しい概念であるかを説明し、その問題点を考察する。	・ジェンダー「イデオロギー」という無意識を説明できる ・現代社会の労働現場及び家庭において「男女共生」をはばむ問題点を認識し、説明できる ・「共生」を阻む偏見の本質を理解し、共生を目指すことができる	△		△		△	
	生涯学習社会論 G231-271-01	学校教育・社会教育の観点から生涯学習とその問題点を把握し、多様性への理解を含めた、持続可能な生涯学習社会の構築・実現に向けた学習のあり方を実践的に学ぶ。	・生涯学習社会の背景について説明できる ・日本の生涯学習政策の問題点を把握し、説明できる ・持続可能な生涯学習社会の構築に向けて自分の考えを伝えることができる	△			△	△	
	現代教育論 G231-272-01	現代社会の諸問題の背景にあると考えられる教育問題を、歴史的な視点、グローバルな視点、教育現場の現状などの視点から捉え、代替の解決策を探る。	・受講生それぞれが自身が受けてきた教育について振り返り、その問題点を説明できる ・現代社会の問題を教育の問題と関連付けて説明できる ・教育問題について自由な発想で解決策を提案できる				△	△	△
	教育政策 G231-272-02	現代日本の教育政策について基本的な理解を得る。その上で、具体的な教育政策のあり方について考察する。	・教育政策の基礎となる教育法、現代日本の教育政策、教育行政について説明できる ・教育政策の現状や問題点、課題などを説明できる ・教育政策における学校教育と社会教育の関わりについて説明できる	△			△	△	
情報・ メディア クラスター	情報法 G231-217-01	情報管理・提供サービスの電子化・ネットワーク化に伴う、インフラやセキュリティ、個人情報の保護、著作権保護などをめぐる法的諸問題について考察する。	・情報に関係する法律の種類と主要な法律の内容を理解し、インターネット上で発生する事件と法律とのかかわりを判断できる ・インターネット上の情報を活用するのに必要な法的リテラシーが活用できる			○	△		
	情報倫理 G231-902-03	情報工学・情報技術の進歩を背景に生まれた情報倫理学を倫理学の幅広い視点から考察する。	・情報倫理学の諸問題の知識を獲得し、論理的に思考できる ・情報倫理に関する問題解決のために自分なりの提案ができる			○	△		
	情報社会論 G231-902-04	電話・スマホなどのパーソナルメディアと社会のリアリティの変化に注目し、メディアと人間をテーマに歴史的な社会の変化について考察する。	・メディア社会についての専門知識を持ち、メディア社会の特徴を読み解き構造的に説明できる ・論理的な思考を深めメディアと向かい合っていく上で必要な判断ができる			○	△		
	マスメディア論 G231-261-10	マスメディアの理論・現状、および、社会の発信者になる実践的メディア・リテラシー教育について考察する。	・マスメディアの特徴を構造的に深く理解しマスメディアを読み解ける ・知識と理解を基に論理的な思考を深め、必要な判断力を身につけ文化内容を分析できる			○	△		

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取る事ができる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決に向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
展開科目 情報・メディアクラス 人間科学クラス	コミュニケーション論 G231-261-11	コミュニケーションの基礎理論、言語／非言語、対人、異文化、メディアなど関連する包括的・基本的な知識や技能について概観する。	・コミュニケーション力を養成し、自分ができるよう行動すべきか自主的に導き出せる ・集団社会の中で、人間関係を円滑にして相手との信頼関係を築くことができる		○	△			
	情報システム論 G231-602-01	コンピュータやネットワークに関連する知識、技術、利用法、構築法を解説し、システムの知識を体系的に概観する。	・基本的な情報システムに関する知識を業界 ・社内の業務に適用できる ・情報システムを企画する部門や情報サービスを利用する部門でシステム構築に携われる				△	○	
	情報ネットワーク論 G231-606-01	情報化社会の基盤となる通信ネットワークの構成・基本要素とシステム構築に役立つ理論や検討手法について考察する。	・社会で情報通信に関する各種の問題に直面したとき、通信理論・分析手順を応用できる ・情報通信システムを企画・運用する業務に携われる				△	○	
	情報インタフェース論 G231-612-01	インターネット＆Webを介してパソコン、携帯機器を用いて情報を扱うための基礎知識、および、インタフェース(情報のやり取り)の観点から情報を効果的に利用する手法を考察する。	・情報に接する視点から、最先端の情報通信技術、社会的な情報環境・基盤を説明できる ・複合的に情報を活用するためにコンピュータを利用できる			△	○		
	マルチメディア論 G231-611-01	マルチメディアの現状、基礎技術、要素技術、教養としての知識、複数の技術を組み合わせることにより可能になること、について考察する。	・マルチメディアの基礎技術を理解することで新たな技術の出現に対しても適切に対応できる ・基礎技術を応用する創造的思考力を身につけることで新しい発想ができる			△	○		
	情報産業論 G231-238-02	情報通信産業を対象に事業形態の動向を概説し、情報産業分野の企業を様々な分析手法・データを用いて比較分析し、新規事業を想定した事業化判断およびマーケット分析について考察する。	・経済指標をはじめとした様々なデータを分析することで、将来の傾向を読み取るデータ分析が行える ・IT産業の現状と課題を理解し、総合的な事業化判断手法の実施手順を実施できる				△	○	
	生涯発達心理学 G231-282-01	人間の一生にわたる心理学的な発達の变化を、個性化・社会化を軸に概説する。	・発達心理学に関する基礎的知識を概説できる ・各自の乳幼児期や児童期といった発達してきた時期を振り返り、今後の青年期から成人期への展望をもつことができる	△		△			
	青年心理学 G231-282-02	青年期の身体面や環境面などの多くの变化を解説し、青年期の心理的特徴を解説する。	・青年期の心理的な変化について概説することができる ・青年期の心理的な特徴について考えることができる	△		△			
	人格心理学 G231-282-03	心の個人差を理解するために、パーソナリティ (人格)の形成、測定法、理論などを解説する。	・パーソナリティを理解するための基礎的知識を概説できる ・パーソナリティの概念を、日常生活での具体的な現象と併せて理解し、説明できる	△		△			
	メンタルヘルス論 G231-283-01	心の健康とその援助について、ストレスなどへの適応やこころの病について、概説する。	・自分自身の心の特徴について説明できる ・適応のしくみを理解し、こころの援助を日常生活に役立てることができる	△		△			
	社会心理学 G231-281-01	人間の考え方や行動の背後には他者や社会からの影響が多く見られることを、日常の行動を例にとりながら解説する。	・社会心理学の基礎的な概念を、日常生活での具体的な現象と併せて概説できる ・自分の言葉で、社会心理学の内容を説明できる	△	△	△			

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることができ	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決に向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
人間科学クラスター 展開科目	対人認知論 G231-281-02	他者や社会的事象に対する認知的プロセスを解説する。	・他者や社会的事象の認知に関する知識を概説できる ・社会的認知の概念を、日常生活での具体的事象と併せて説明できる	△		△			
	心理診断法 G231-283-02	アセスメント(来談者の状態の査定)で使用される心理テストをいくつか取り上げ、それらの理論と技法を解説する。	・心理テストの理論と技法の知識について説明できる ・心理診断法について、正しい知識をもって考えることができる	△		△			
	行動科学 G231-282-04	人間の社会行動について、生物学的・進化的視点、発達の視点、文化的視点から解説する。	・人間の社会行動についての心理学的知見を概説できる ・自分自身の社会行動の基盤と仕組みを考察することができる	△		△			
	生命健康科学 G231-445-01	健康障害や医療への向き合い方などに主体的に仮説を立証し、積極的に社会貢献ができる能力の育成する。	・「健やかに老いる」ためにはどのようにすればよいか、考えることができる ・広く健康問題を考えていくことができる	○					
	生態学 G231-454-01	生物界と環境との相互作用を科学する学問の成果と視点を紹介し、生物多様性の維持を中核とする政策的取り組みへの基礎的理解を深める。	・生物の成長が種内・種間・環境との多様な関係の中で実現することを概説できる ・歴史的存在としての地球生命への人間の働きかけに於いて留意すべき視点を学び、説明できる ・動的なバランスを旨とする生命活動の理解を踏まえた政策立案力を発揮できる	△			○		
	総合政策a G231-221-05	現代社会における1つのトピックについて、様々な専門領域からのアプローチを試みることで、複雑にからみあった問題構造や、複数の解決可能性について学習する。総合政策a～fはそれぞれ別のトピックを取り扱う。	・1つの問題を多面的に捉え問題の構造を考察することができる ・解決方法について複数の代替案から検討することができる				○		○
	総合政策b G231-221-06	同上	同上				○		○
	総合政策c G231-221-07	同上	同上				○		○
	総合政策d G231-221-08	同上	同上				○		○
	総合政策e G231-221-09	同上	同上				○		○
総合政策f G231-221-10	同上	同上				○		○	
リサーチ・プロジェクト	リサーチ・プロジェクト Ia G112-841-01	総合政策学部で学ぶために必要な能動的な学習スキル、すなわち、さまざまな知識・情報を正しく読み解き、深く考え、自分の考えを表現し、仲間と論じあい、さらにその成果をまとめる手法を学習する。	・講義の聴き方・ノートの取り方、話し合いの仕方、文献・資料の調べ方・読み方、発表の仕方、レポートの書き方など大学の学びに必要な学習スキルが身につくことで能動的に学習することができる		○	○	◎		
	リサーチ・プロジェクト Ib G112-841-02	総合政策学部で学ぶために必要な能動的な学習スキル、すなわち、さまざまな知識・情報を正しく読み解き、深く考え、自分の考えを表現し、仲間と論じあい、さらにその成果をまとめる手法を学習する。	・クラスやグループのテーマをもとに、グループ・ディスカッション、フィールドワークなどを通じて、問題を発見し、問題の分析を経て、解決策の提案に迫ることができる		○	○	◎		

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解》 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーション力を身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることをできる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な多分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
リサーチ・プロジェクト	リサーチ・プロジェクト IIa G212-841-03	総合政策学部専任教員の専門分野に関する能動的な学習を通じて、問題の発見、問題の分析、解決策の調査を行い、問題への関心を高める。3・4年次のゼミ選択、将来選択へのきっかけとする。	・担当教員の専門分野における問題の発見・分析・解決策の検討方法について理解し、特定の課題に対して適用できる ・将来もっと深く学びたい学問領域を発見できる		△	△	◎	△	
	リサーチ・プロジェクト IIb G212-841-04	同上	同上		△	△	◎	△	
	リサーチ・プロジェクト IIIa G312-842-01	担当教員の提示する専門領域についての知識を深めるとともに、卒業研究のテーマを模索する。	・各自の関心を深め、卒業研究のテーマの方向性を定めることができる ・卒業研究するための調査・分析・報告書の執筆等のノウハウを身につけて卒業研究を進める上で必要な準備ができる			△	△	◎	△
	リサーチ・プロジェクト IIIb G312-842-02	同上	同上			△	△	◎	△
	リサーチ・プロジェクト IVa G412-842-03	自ら問題意識を掘り下げて選んだテーマについて研究を進めて、研究報告を作成する。	・研究テーマについての調査・分析を通じて問題を構造的に捉えることができる ・研究テーマについて問題解決へ向けた提言ができる			△	△	◎	△
	リサーチ・プロジェクト IVb G412-842-04	同上	同上			△	△	◎	△
	キャリアデザイン科目	キャリア・デザイン I G131-861-01	大学4年間を有意義に過ごし、自信をもって社会に出ていくことを念頭に、基本的なコミュニケーションのしかた、目標設定のしかた、自己表現、マナーについて、少人数で体験的に学習する。	・社会に出るための基礎(コミュニケーション力、マナー、自己表現力)を身につけて就職活動の準備ができる ・大学生生活を充実させるための目標を設定し、目標実現のための行動をとることができる		○	○		
	キャリア・デザイン II G231-861-02	就職活動において周囲やメディアにあふれる情報にいたずらに振り回されるのではなく、地に足をつけ、本当に自分に必要な行動・情報を選択するため自己分析や業界研究などを通じて就職のための方向性を検討する。	・自分自身(特徴・強み・弱み・価値観など)を理解し表現できる ・自分が関心のある仕事や資格について情報収集をし興味の幅を広げ就職活動の準備ができる ・自分の目標や社会に出るまでに伸ばしたい力を明らかにし計画立案し、行動をはじめることができる		○	○			
	インターンシップ G338-861-03	企業や公的機関が実施するインターンシップに参加することにより、学生時代のアルバイト経験とは異なる、社会活動への参加をすることで、業種・業界知識や職場・職種知識を得て、就業意識を高める。	・社会における社員レベルでの現実的な就業を体験し、就業への準備ができる ・就職活動時に実際の体験や知識を生かすスムーズな就職活動ができる ・一連のインターンシップの活動を通して社会人としての行動をとることができる		○	○			
	キャリア対策 I G138-861-04	在学中に取得した社会人として必要な資格などを単位認定する。	・資格取得を通して社会人としての準備ができる			○			
	キャリア対策 II G138-861-05	同上	同上			○			
	キャリア対策 III G138-861-06	同上	同上			○			

総合政策学部総合政策学科 カリキュラムマップ				総合政策学部総合政策学科のディプロマポリシー (DP)					
科目 分類	授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				《多様性への理解 人種・性別・障害の有無などの外形的違いだけでなく、文化・価値観など多様性を理解し、相手の立場を尊重できる》	《コミュニケーション》 積極的な意思疎通のできる開かれた心と相互理解を深めるためのコミュニケーションを身につけている	《社会参加》 社会の一員として様々な主体と協力的に問題解決に向けた行動を取ることをできる	《課題発見力》 客観的な情報を元に現状の問題を把握・分析し、解決へ向けた方向づけができる	《課題解決力》 課題解決へ向けた計画策定、実施、評価、改善を遂行する力を身につけている	《総合的な知恵》 現代社会を理解するのに必要な分野にわたる知識をもち、物事を総合的かつ実践的に判断していく知恵を獲得している
キャリアデザイン科目	キャリア対策Ⅳ G138-861-07	同上	同上			○			
	心理学実験Ⅰ G233-287-01	心理学の実験法と実験レポート作成の基礎を学ぶ。	・心の働きを目に見えるデータとして取り出せるように、実験・観察・調査・事例研究などのさまざまな研究方法ができる	△					
	心理学実験Ⅱ G233-287-02	同上	同上	△					
	社会と倫理 G231-111-01	社会にある様々な問題に対して我々がどのように考え、向き合い、行動していかなければならないかについて、古典的議論や現代的状況をふまえて学習する。	・社会と倫理について自分なりに考える力を養うことができる	△		△	△		

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項